

# 市民参画フォーラム ～みんなで支える豊かな公共～

直面する諸課題に対応し、安心・安全で住みやすい倉吉市を創造するためには、人ひとりでは実現・解決できない社会的事業・サービスが、多様な主体と手法で豊かに提供されることが求められます。

そのためには、市民も行政も共に公共を担うという考え方が大切であり、このような市民参画・協働の意義・必要性を理解していただくためフォーラムを開催します。

開催日時 8月27日(日) 13:30～16:00

会場 倉吉未来中心セミナールーム3

対象 市民

参加費 無料

内容

◇オープニング(13:30～13:40)

◇事例発表(13:40～14:00)

事例「高城地区有償ボランティア輸送について」

発表者 特定非営利活動法人たかしろ

◇基調講演(14:00～14:50)

テーマ『市民自治を理念に「新しい公共」を』

講師 千葉県我孫子市 福嶋浩彦市長

◇鼎談(ていだん)(15:00～16:00)

テーマ「みんなで支える豊かな公共」

鼎談者 ・我孫子市長 福嶋浩彦さん

・鳥取短期大学教授 野津伸治さん

・長谷川稔倉吉市長

※問合せ先：市民参画課(TEL 22-8159/ FAX 22-8144)



福嶋浩彦 我孫子市長  
プロフィール

1956年鳥取県生まれ。83年  
あびこ  
我孫子市議会議員。

95年38歳で我孫子市長に当選。現在3期目。

市の補助金の市民審査、市職員採用での民間試験委員、常設型市民投票条例、コミュニティビジネスの育成、市民債による自然環境の保全など、市民自治を理念とするまちづくりを進めている。04年に「NPOとの協働を実りあるものにするための7つの原則」を発表。

2002年全国青年市長会会長、現在は同顧問。03年から福祉自治体ユニット代表幹事。ほかにローカル・マニフェスト推進首長連盟監事などを務める。

## おめでとう!! 倉吉北高 甲子園出場



7月26日(水)、鳥取市の県営布勢野球場で「第88回全国高校野球選手権鳥取大会」の決勝戦が倉吉北高と倉吉東高の倉吉同志の対戦となり、倉吉北高が10対4で倉吉東高を破り、4年ぶり6度目の夏の甲子園出場を手にしました。

### 意見その8

これまで、市民参画はできていなかったのか、本当に市民の意見が反映されるのか。

#### ■市の考え方

市では、これまでも計画づくりなどでは、市政への市民参画を図ってきました。しかし、これまでの市民参画は、市民の皆さまと行政が市民参画に関する基本的考え方について共通理解を図り、そのもとに進めてきたものではありませんでした。そこで、市民参画に関する共通理解

市では、市民参画条例に盛り込みたい事項をまとめた条例要綱(案)に対する市民の皆さまからのご意見にシリーズでお答えしています。

### シリーズ「市民参画によるまちづくりの推進をめざして」

4

今回は、その4回目です。市民参画をお考えいただききっかけにしてください。  
※ご意見・問合せ先：市民参画課(TEL 22-8159/FAX 22-8144)

を図るものとして条例を制定しようというものです。

しかし、いろいろな考えを持った市民の皆さんがいます。それらをまとめ市政に反映するためには、市民の皆さんが、それぞれの立場を理解し合い、違いを認め合ううえで、協議を重ね、共通の課題を解決する方法を見つけていくことが大切です。そして、その過程が公開され、公正なルールで進められることで、自分の意見が受け入れられなくても、結論に対して納得が得られると考えています。

## 上井公民館・児童センター完成 地域の交流拠点に

7月22日(土)、倉吉市上井公民館・児童センターの竣工式が大平町で行われました。

両施設は、倉吉駅周辺まちづくり整備事業によって、移転新築により合築されたもので、この日は地域住民をはじめ、約150人が完成を祝って集まりました。

竣工式で長谷川市長は、「公民館は趣味やサークル活動など、コミュニティ活動が活発になり、児童センターは公民館とのネットワーク相乗効果で、次世代教育支援の飛躍を期待しています」とあいさつしました。

### <施設概要>

木造一部鉄骨造 2階建

延床面積：約1,300㎡

公民館 1階 和室2、大会議室  
2階 会議室、視聴覚室

児童センター

1階 幼児支援室、静養室、プレイルーム

2階 学童支援室、児童支援室



## 情報化

平成23年7月24日には、地上アナログ放送は終了し、デジタル放送に完全移行  
その後のアナログ受信機でのテレビ視聴ができなくなります

視聴手段	倉吉市内での放送開始時期／受信方法
自宅または、集合住宅に設置されたテレビアンテナで受信する場合	○放送開始時期：平成19年度中 UHFアンテナと専用の地上デジタル対応テレビチューナーが必要です。 ※UHFアンテナは、市内で山陰テレビ・山陰中央テレビを受信されている場合に立てられています。 ※通常はそのまま受信できますが、地域によってはアンテナの向きを変更
	○放送開始時期：平成18年10月1日 デジタルコースへの加入が必要です。 ※アナログコースではデジタル放送の視聴はできません。(アナログコースは平成23年7月24日で終了します) ※問合せ先：日本海ケーブルネットワーク(株) (☎26-6131)
ケーブルテレビで視聴する場合	○放送開始時期：平成19年度中 ※鳥取市(平成18年10月1日より)などすでに放送が開始されているエリアに移動された際には受信できます。 受信方法はそれぞれの機器説明書をご覧ください。
地上デジタルに対応した携帯電話・カーナビなどの移動通信機器で受信する場合	○放送開始時期：平成19年度中 ※鳥取市(平成18年10月1日より)などすでに放送が開始されているエリアに移動された際には受信できます。 受信方法はそれぞれの機器説明書をご覧ください。

平成18年10月1日から、鳥取県内で地上デジタル放送が開始されます。地上デジタル放送エリアは県庁所在地から段階的に拡大され、倉吉市内は、平成19年度中に放送が開始される予定とされています。(ケーブルテレビ視聴世帯で、デジタルコースに加入されている場合は、10月1日から地上デジタル放送の視聴が可能です)

10月1日、鳥取県で地上デジタル放送開始  
倉吉市内は平成19年度中に開始!!

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター  
☎0570-07-0101 (平日9:00~21:00 土日・祝日 9:00~18:00)  
中国総合通信局  
<http://www.cbt.go.jp/digital/index.html>  
地上デジタル放送推進協会  
<http://www.d-pa.org/>

## 第2回 日本板画院山陰支部展

7月9日(日)～23日(日)に、倉吉未来中心アートギャラリーで、第2回日本板画院山陰支部展が開催されました。

この展覧会は、昭和27(1952)年版画家棟方志功さんらが創設された日本板画院主催の第56回板院展が東京都美術館で開催され、山陰支部会員から16人の作品が入選し、中でも倉吉市在住の3人が入賞し全国から注目を集めました。

これらの木版画の力作など、版表現の可能性を追求する個性豊かな作品が展示されました。



▲板院展に入賞された3人、右から  
巨 弘子さん(井手畑)、桑田幸人さん(秋喜)、田中達郎さん(明治町)

## 時期純熟

倉吉市長 長谷川 稔



© 谷口ジロー『あきやま町』小学館

鳥取の知人から送られてきた活動通信に、「人の心をつかむにはどうしたらよいのでしょうか」と書き添えられていました。私も丁度、対話集が続く中であり、誰も悩んでいるのだと受けとめました。

市民の中にある多様で、時として意見が対立する場合であっても対話を大切にしています。相手の方がなぜそう思われるのか、こちらからはそこに響く言葉を考えていきません。対話で大事なのが集会のもち方です。何より、日程の中でも対話集会を最優先して市長が出席するようにし、また途中で退席するような出方はしないこと。

出席者が大勢の会では、雰囲気におされそうになるが、話し合うときは1対1であることを知るべきです。この参加者一人と市長との討論をそこに参加している全員がじっと聞いているのです。同時に、双方の意見、説明を比較して聞いていただけます。この機会に誠心誠意、熱意を込めて話していけば、耳を傾けていただけます。そう考

えらとできるだけ多く参加してもらい、こちらの生の話を聞いてもらいたいと願うようになりま

す。地域の多様な意見をまとめていくには、人望のある人でなければつとまりません。人望のある人とは、話せばわかる人です。住民の声をできる限り聞き、反映させていく取り組みを一緒にはじめましょう、と言っていただけ

## ボランティア募集

第19回全国スポーツ・レクリエーション祭



第19回全国スポーツ・レクリエーション祭  
**スポレク鳥取**  
イベント情報  
2006  
10月21日～24日

No. 6

を支給、ボランティア保険に加入します。

エーション祭倉吉市実行委員会では、スポレク鳥取2006により多くの市民のご参加をいただくため、期間中の運営を支えていただくボランティアスタッフを募集します。

【応募資格】

ボランティアで参加できる高校生以上の人で、期間中2日以上参加できる人

【申込方法】

【開催期間】10月21日(土)～24日(火)  
【開催種目および会場】年齢別バドミントン：県立倉吉体育文化会館  
壮年ボウリング：倉吉プラザボウリング

### 【業務内容および募集人数】

- ① 防災警備・交流・競技式典・会場・輸送・駐車場などの運営：若干人
  - ② 広報記録（デジタルカメラおよびデジタルビデオカメラで撮影）
  - ・カメラ：4人（各種目2人）
  - ・ビデオカメラ：4人（各種目2人）
- ※祭典開催期間の1日に必要な人数です。
- （注）デジタルカメラおよびデジタルビデオカメラは、持参していただきますようお願いいたします。
- 【支給物品など】
- スタッフジャンパー・昼食弁当

【申込締切】

8月21日(月) 当日消印有効

※申込・問合せ先  
市教育委員会市民スポーツ課 全国スポーツ・レクリエーション祭推進室  
〒682-0822 倉吉市葵町  
591-11 (TEL) 22-8167 / FAX 22-5684



新路上陸した鳥取土族移民の様子を描いた絵画。移民団を乗せた汽船「福丸」が新路上陸したのは明治17年8月9日の早朝。船中で合流した者も含めると、土族、薩摩藩など41戸、207名。翌年、さらに64戸、306人が入植し、農業による村づくりがはじまった。

(出典：鳥取 NOW56 号北海道移住物語)

## アイヌ文化を通して多文化を考える

日本の先住民族に関する歴史や実態などについては、多くの市民にあまり理解が図られていない状況にあります。今回は、アイヌ民族の歴史や文化について考えてみましょう。

アイヌ民族の復権、アイヌ文化伝承に尽力された民族初の国会議員萱野茂さんが亡くなられました。

「クコロウタリ、コロイラウエ、シペツデツバクノ、クネプキルスイナ(民族の願いである新法制定に向けて力を注ぎます)」

国会史に残るアイヌ語での萱野さんの質問は、日本語と外国語のほかに先住民族語のアイヌ語があることを、全国の人々に知らせました。「百年近く続いた「旧土人保護法」が、1997年廃止されました。この審議の過程での萱野さんの質問も、衝撃的でした。「旧土人とはだれ

のことか。アイヌのことであり、私のことか」と。

倉吉市が、「アイヌ民族の復権」を、「あらゆる差別をなくする総合計画」の中に位置づけたのは、1996年のことです。

## いくつもの島をもった日本

共生社会を実現する上でのキーワードとして、多文化・異文化理解が叫ばれています。

では、理解する対象としての文化は、どんな人々の文化でしょう。

現在、鳥取県内には約60万国、5,000人程の在住外国人が、生活しています。「内なる国際化」の視点からも、外国人の文化理解や人権保障は不可欠です。

また、在住外国人を抜きにしたら、日本は同一の均一的な国なのでしょうか。そのことにインパクトを与えるのが、アイヌ民族からの視点です。アイヌ民族は、自分たち以外の人々を「シャモ」と呼びます。また沖繩の人は、「ヤマトンチュ」と言います。

これらの人々は、明治になってから、本格的に日本の範囲に組みこまれました。歴史も文化も、違う歩みをしてきました。

しかし、残念なことに、大臣や政治家の変わらぬ「単一民族国家論」は、後を絶ちません。アイヌ民族の理解は、入り口のところで止まったままです。

## 鳥取とアイヌ民族とのつながり

明治期に入り、鳥取からも多くの人が北海道に移住し、慣れぬ厳寒の地で大変な苦勞をされました。そうした中で、望郷への強い思いは、鳥取の郷土芸能を移住地に定着させました。

しかし、その鳥取の人々の苦勞が、アイヌ民族にどう影響を与えたかは、ほとんど議論されることはありません。そこは、「未開」の地ではなく、アイヌの生活圏だったので。

釧路は、鳥取からの入植者が多い地です。入植者の増加は、アイヌが居住しているのは街の発展の邪魔と考えられ、アイヌ集落27戸が30キロメートル離れた原野に強制的に移住させられるという事態となりました。こうしたことが各地で見られたのです。

「旧土人保護法」は、アイヌの土地

を奪い、慣れぬ農業を強い、民族の名前や言葉を否定し、「日本人化」(同化)を押し進めました。

文化を「すばらしさ」だけでなく、「奪われた側面」からも考えたいと思います。

## 倉吉の子どもたちの動き

上灘小学校では、昨年から北海道の由仁小学校と交流を始めています。同地区に入植した指導者が、上灘小学校の教師であったことが縁となり始まりました。

交流で大事なことは、お互いの学校・地域を知ることです。その中で、北海道のアイヌ民族の歴史と文化を学ぼうとする動きが出てきました。小・中学校の教科書には、以前に比べアイヌ民族のことが掲載されています。今後の交流で、より深まることが期待されます。



## 人権絵本4作目完成 「くわがたとりのひみつの木」

作品は教育機関・各公民館・図書館などに置いてあります。ぜひ、ご覧ください。